

(1) 総括安全衛生管理者の選任

- 選任の必要要件に達した日から14日以内に選任が必要。
- 林・鉱・建設・運送・清掃業等は常時使用する労働者100人以上で選任。
- 電気・ガス・水道・製造・卸売・小売・旅館・ゴルフ・通信・自動車整備・機械修理業等は常時使用する労働者300人以上で選任。
- その他は常時使用する労働者1000人以上で選任。
- 業務としては、衛生管理者への指示、安全衛生に係る方針の表明等がある。
- 総括安全衛生管理者は、その事業の実施を統括管理する者であり、特に資格等が必要なわけではない。

◆ 総括安全衛生管理者の選任

業種	規模（人）
林業、鉱業、建設業、運送業、清掃業	常時100人以上
製造業（物の加工業含む）、電気業、ガス業 熱供給業、水道業、通信業、各種商品卸売業、 家具・建具・じゅう器等卸売業、各種商品小 売業、家具・建具・じゅう器小売業、旅館業、 ゴルフ場業、自動車整備業、機械修理業	常時300人以上
その他の業種（本社のデスクワークなどの事務的業種）	常時1000人以上

- ※総括安全衛生管理者の選任を要しない事業場では、事業者自ら総括安全衛生管理者の役割を担って安全衛生業務を統括管理する。
- ※総括安全衛生管理者が旅行、疾病、事故等のやむをえない事情により職務を行うことができないときは、代理者を選任しなければならない。

◆ 業種の区分による衛生管理者の資格・免許等

業種の区分	資格・免許等
農林畜水産業、鉱業、建設業、製造業、 (物の加工業含む)、電気業、ガス業、 水道業、熱供給業、運送業、医療業、 清掃業、自動車整備業、機械修理業	第一種衛生管理者、 衛生工学衛生管理者、 医師、歯科医師、 労働衛生コンサルタント等
その他の業種	上記に加え、 第二種衛生管理者

◆ 事業場の規模と衛生管理者の選任数

事業場の規模	衛生管理者数
50人以上200人以下	1人以上
200人を超え500人以下	2人以上
500人を超え1000人以下	3人以上
1000人を超え2000人以下	4人以上 (内1人専任)
2000人を超え3000人以下	5人以上 (内1人専任)
3000人を超える場合	6人以上 (内1人専任)

- 18歳未満の労働者には、時間外労働・休日労働を原則させてはならない。
- 産後1年を経過しない女性が生後1年未満の子をみるための休憩時間を請求した時は、通常の休憩時間以外に1日2回（1回あたり少なくとも30分）の育児時間を与えなければならない。
- 休憩時間
 - 労働時間が6時間を超えるとき・・・45分
 - 労働時間が8時間を超えるとき・・・1時間（8時間丁度の場合は45分でOK）

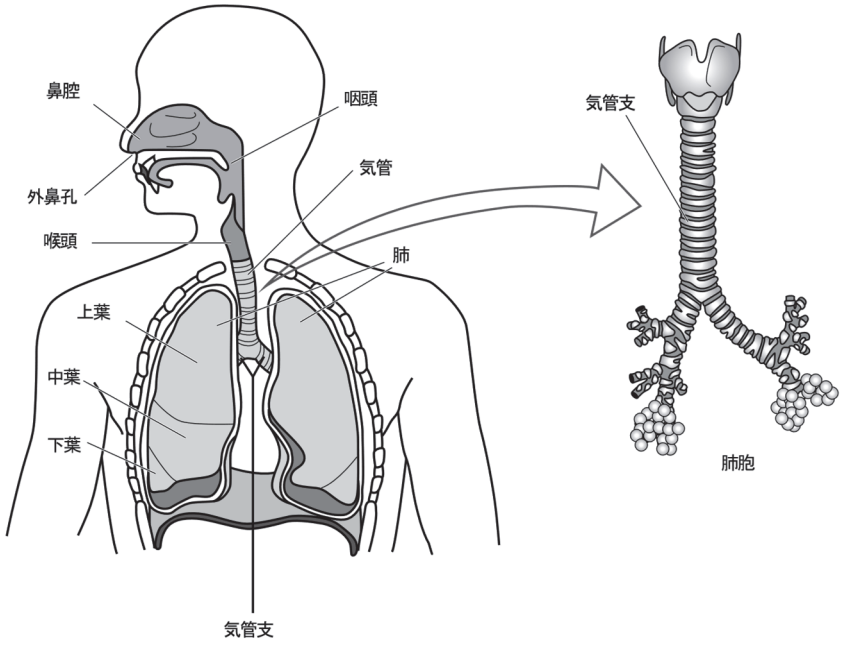
(2) 賃金、割増賃金

- 平均賃金は、算定事由発生日以前3か月の賃金総額を、その期間の総日数で除した数値である。
- 賃金総額には家族手当、通勤手当なども算入される。
- 割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当（扶養家族数に応じて支給されるものに限る）や通勤手当などは算入されない。

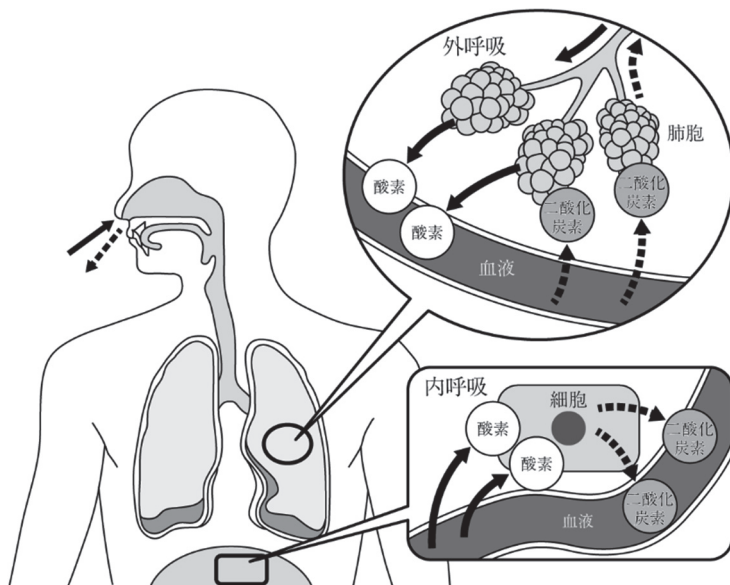
項目	賃金総額に含まれるもの	割増賃金の算定の基礎に含まれるもの
基本給	○	○
結婚祝金、死亡弔慰金等	×（原則）	×（原則）
通勤手当	○	×
家族手当	○	×
別居手当	○	×
子女教育手当	○	×
住宅手当	○	×
臨時に支払われた賃金	○	×
1か月を超える期間ごとに支払われる賃金（賞与）	○	×
在宅勤務手当	○	×（原則）
※「×（原則）」と示されたものについては、就業規則や労働契約によってあらかじめ支給条件が明確であれば賃金と解され、算定の基礎に含まれることになる。		

- 1日の労働時間が8時間を超える場合は割増賃金を支払わなければならない。
- 時間外勤務が深夜に及ぶ場合は、時間外勤務及び深夜勤務に対する割増賃金を支払わなければならない。

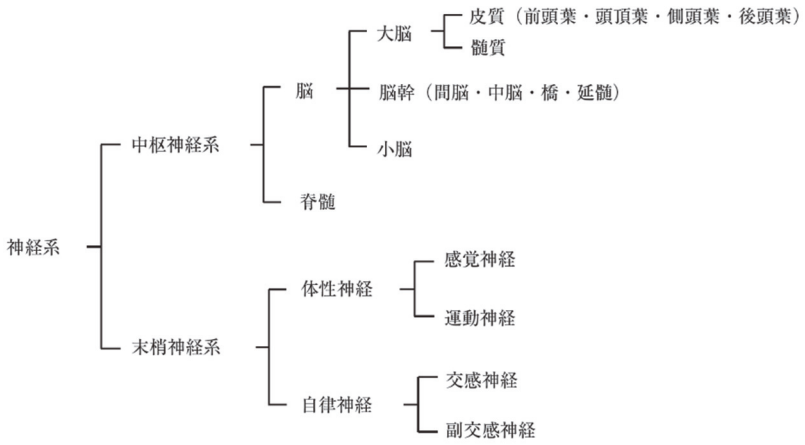
◆ 呼吸器



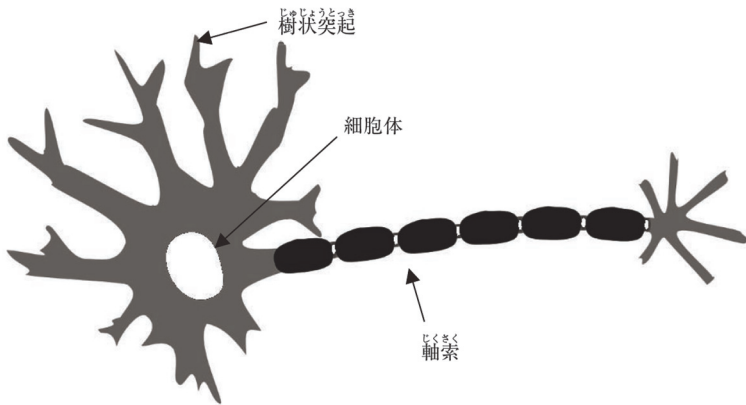
◆ 外呼吸・内呼吸



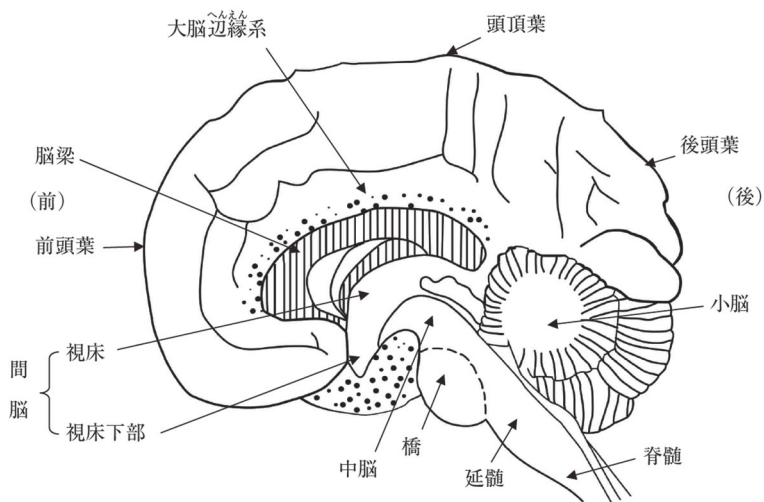
◆ 神経



◆ ニューロン



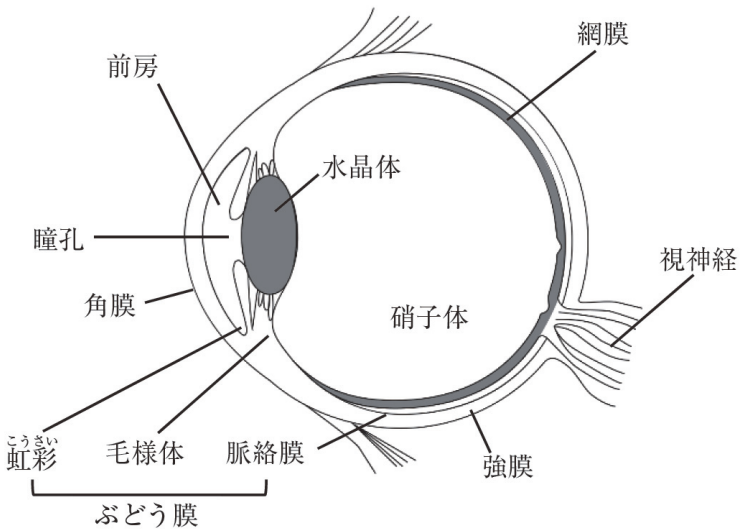
◆ 脳



(2) 感覚／感覚器

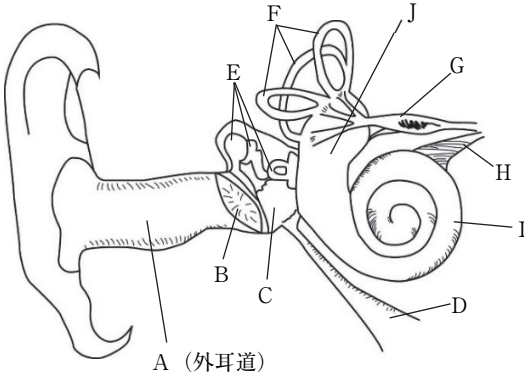
- 目の前の明るさは網膜で知覚される。水晶体で知覚されるのではない。
- 水晶体は、厚さを変えることにより、焦点距離を調節して網膜に像を作る。
- 眼球の長軸が短いと平行光線が網膜後方で像を結ぶ。これが遠視。
⇒反対に、長軸が長すぎると平行光線が網膜前方で像を結ぶ。これが近視。
- 錐状体は明るいところで色を感じ、桿状体は暗い所で弱い光を感じる。

◆ 眼球の断面図



- 内耳はかきゅう蝸牛・ぜんてい前庭・半規管に分かれる。聴覚を蝸牛が司り、平衡感覚は前庭（傾き・大きさ）と半規管（回転・速度）が司る。
- 中耳にある鼓室の内圧は、外気圧と等しく保たれている。

◆ 耳



<音の伝わり方の経路>

- A : 外耳道
- B : 鼓膜
- E : 耳小骨
- I : 蝸牛
- H : 聴神経

- (C) : 鼓室 (中耳)
- (D) : 耳管
- (F) : 半規管
- (G) : 前庭神経
- (J) : 前庭

- 痛覚点はこの感覚と比べ一番密度が大きい。また温感より冷感のほうが敏感である。
- 味覚や嗅覚は化学感覚と呼ばれる。嗅覚はたいへん疲労しやすい。
- 深部感覚とは、皮膚や粘膜の表面ではなく、それより深部にある内臓との中間領域（筋肉や腱、関節など）から得られる身体各部の位置や運動の感覚である。